＜熱中症事案報告書の作成方法＞

熱中症事案の認定にあたっては、下記の２要件を満たすことが必要とされています。

① エネルギー消費量の多い運動を行っていること

② 高温・高熱の条件下にあること（単に気温の高低のみで判断せず、湿度や服装の状況等も含めて総合的に判断する）

熱中症事案報告書は、公務起因性の判断にあたり、どのくらいの運動（動作）をどういう環境でどれくらい行ったか、また、糖尿病、高血圧症、心疾患、腎不全等熱中症の発症に影響を与える疾病が影響しているか等について把握するために必要となる書類であり、被災職員が作成し、記名してください。

なお、作成にあたっては、次の事項を記載してください。

１　過去３年間程度の健康診断結果、人間ドック結果

２　持病（高血圧や糖尿病等）の有無、服薬の有無

服薬が有の場合は、薬剤名及び服用頻度・量を記載してください。

３　当日の服装

単に「作業服上下」というようなものではなく、材質、袖のあるなし等も含め記載してください。また、消防職員や警察職員など、装備を身につけている場合はそれらの重さ等も記載してください。可能であれば写真を添付してください。

４　当日の気温、湿度、風力（被災場所で計測していないようであれば、なるべく近い地点の気象観測記録）

屋内の作業で発症した場合は、空調の有無、室温についても記載してください。

５　発症前１週間程度の健康状態（体調不良、下痢、気分の悪さ等）

６　発症前日から発症までの行動

発症前日から発症までなるべく詳しく時系列で整理してください。特に発症前日の飲酒の有無及び量、発症当日の摂取した水分の量や運動量を可能な限り定量的に記載してください。

熱中症事案報告書

１　過去３年間程度の健康診断結果、人間ドック結果
別添のとおり

２　持病（高血圧や糖尿病等）の有無・服薬の有無
令和〇年〇月から、糖尿病のため〇〇病院に毎月受診をし、服薬治療を継続。
毎日朝食後にメトホルミン錠 500 mg、デベルザ錠 20 mg各１錠を服用。

３　当日の服装
半袖Ｔシャツ（ポリエステル 50%、ナイロン 50%）、夏用長袖シャツ（ポリエステル 55%、綿 45%）、夏用長ズボン（ポリエステル 55%、綿 45%）、作業用帽子（メッシュタイプ）、安全靴、ゴム手袋

4　当日の気温、湿度、風力

晴れ、気温：31.5℃、湿度：58％、風速：4.0m、風向：東（横浜観測所　11 時）

作業場所（屋内）：空調設備なし、室温 30℃（11 時頃。室内温度計による）

5　発症前１週間程度の健康状態

○月○日（発症３日前）に、喉の違和感あり（発熱はなし）

○月○日（発症２日前）には、上記症状は消退

発症当日の体調は良好

6　発症前日から発症前の行動

＜○月○日（○）（発症前日）＞

18 時 00 分　退庁

19 時 00 分　帰宅

19 時 30 分　夕食（ご飯、みそ汁、焼き魚、サラダ、ビール 350ml 缶１本）

22 時 00 分　入浴

23 時 30 分　就寝

＜○月○日（○）（発症当日）＞

６時 00 分　起床

６時 30 分　朝食（食パン２枚、目玉焼き、サラダ、ヨーグルト、コーヒー１杯）

メトホルミン錠 500 mg、デベルザ錠 20 mg　各１錠服用

７時 15 分　自宅出発

８時 15 分　出勤

８時 30 分　勤務開始

９時 00 分　○○作業開始

○○作業とは、～～

（どのような場所で、どのような服装でどのような動作をどれくらいの時間行ったのか、詳しく記載してください。）

作業中にペットボトルのスポーツドリンク 500ml を飲む。

11 時 00 分　めまい、吐き気等の症状が生じたため休憩室で休憩

11 時 30 分　痙攣等の症状も生じてきたため救急要請し、○○病院に救急搬送

上記のとおり報告します。

令和○年○月○日

○○市○○課

主事　神奈川　太郎